

令和3年度 学校評価報告書

学校名	三田市立けやき台中学校
-----	-------------

1 学校教育目標

「夢や希望をもち、目標に向かってたくましくしなやかに生きる生徒の育成
～明るく、わ(和・輪)のある学校～
めざす学校像
◆活気に満ちた規律ある学校…あいさつ、活気のある授業、マナーアップ
(言葉遣い・服装)
◆学ぶ環境の整った、安全で美しい学校…適切な危機管理、掃除が行き届
いている
◆地域の学校として、信頼され応援される学校…学校・家庭・地域、異校
種、関係機関との連携、情報発信

2 今年度の学校重点目標

- (1)新学習指導要領に対応した取組の充実
- (2)学力向上に向けた授業改善 (3)生徒指導の充実
- (4)自尊感情を高める (5)人権教育・特別支援教育の充実
- (6)家庭・地域との連携 (7)学校園所連携の推進
- (8)学校業務改善(勤務時間の適正化)

3 総合的な自己評価

社会の変化に柔軟に対応できる力が求められている。感染予防に務め、制約を我慢し、ルールを守ってきた生徒たち。コロナ禍でも顔を上げ、前を向いて取り組む意欲と経験は、必ずこれからの人生に役立つと確信する。「希望を持つこと、できる方法を考えること、仲間と知恵を出し合うこと」など、大切なことを教職員と一緒に学べることができた。生徒の教育活動を最優先に考え、感染予防に協力していただいた保護者や地域の皆様に感謝している。

4 総合的な学校関係者評価

学校評価アンケートから、全体的に肯定的な意見が多く、充実した学校運営ができていると評価する。

生徒たちはコロナ禍で制約のある学校生活をしているが、前を向いて工夫して取り組んだ体験が今後の人生でプラスになることを祈るばかりである。大変な状況の中でも、生徒ファーストでたくさんの知恵を出し、実践していただいた先生方に感謝する。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
学校教育目標	学校教育目標や重点目標、目指す生徒像・学校像を意識した教育活動が日々実践されているか。	コロナ禍でも「希望を持ち、知恵を出し合い、できる方法を考える」ことが浸透し、工夫によって学校生活を楽しいものにできている。	学校教育目標やめざす生徒像、学校像の更なる浸透を図る。積極的な情報発信やオープンスクールの実施に努める。	コロナ禍で想定外の対応を求められたが、学校教育目標等の達成に向けて知恵を出し合い、成果を出していただけた。楽しく、明るく活気のある学校づくりを今後もお願いしたい。
	生徒が学習する場としてふさわしい教育環境が整っているか。	大規模改修工事によって、気持ちの良い学習環境ができた。更なる保護者やボランティアの協力体制、安全対策が課題である。	挨拶や環境整備、学習補助などにもボランティア協力を広げた。不審者や交通安全、災害等に備えた訓練の工夫を行う。	改修工事やボランティアの協力で、良い学習環境ができている。正門や侵入口となりえそうな箇所、目に見える形で対策を講じていただけると安心である。
教育課程 学習指導	適切な時期と目的により、充実した学校行事を実施できているか。	感染対策を講じた上で、全校生徒で取り組む学校行事や部活動、生徒会活動を工夫により安全に実施できた。また、学校行事をHPやYouTubeで配信した。	保護者の参観ができるよう、時期と方法を一層工夫する。	けや中祭などの学校行事はとも好評であったと聞く。工夫により、良い活動をしていただけた。学校HPやYouTubeによる動画配信はありがたいことである。
	「学力向上指導改善プラン」に基づき、授業改善・家庭学習の充実・学力補充・小中連携の充実・読書活動の充実に取り組んでいるか。	iPadの活用を進め、分かりやすい授業の工夫を行っている。学力向上については、保護者の期待が特に大きく、家庭学習や読書は昨年度に引き続き課題と考える。	「iPadの効果的な活用推進」を研究テーマに、学力向上指導改善プラン(授業改善・家庭学習・学力補充・小中連携・読書)の実行を一層進める。	社会の変化に対応し、iPadの活用を含め、工夫しながら取り組めたと評価する。今後もより一層、活用を進めてほしい。また、どの生徒も意欲が持てるよう、学習相談を充実してほしい。

生徒指導	教育相談の充実により生徒理解に努めるとともに、問題行動の早期発見・早期対応、未然防止に取り組んでいるか。	生徒の良いところや頑張っているところを認めるなど、教職員は生徒理解に意識して取り組んでいる。コロナ禍の影響か、挨拶が課題と考える。	日頃より人の痛みを感じた行動、TPOに応じた言動を大切に。挨拶については一層心を込めて行い、家庭や地域、生徒会と一体となった取り組みを継続する。	地域であいさつを交わしてくれる中学生を嬉しく思う。コロナ禍の生徒への影響を心配するが、都度適切に対応いただいている。今後も優しい行動や頑張りを大いにほめてやってほしい。
	「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ問題に迅速かつ組織的に対応できているか。	「いじめ見逃しゼロの学校づくり」を進めている。いじめ対応チームで情報共有と方針決定を行うなど、組織的に取り組んでいる。	生活アンケート（月1回）や教育相談を継続するとともに、日頃より生徒に向き合う時間の確保、積極的な声掛けを一層行っていく。	「いじめのない安心の学校づくり」に意識して取り組んでいると感じる。普段から相談しやすい環境や声掛けをお願いする。
家庭・地域との連携	通信やHP、オープンスクールによって家庭や地域に情報を発信し、開かれた学校づくり・信頼される学校づくりができているか。	学校HPへのアクセス数も大変多く、通信やミマモルメとともに、積極的な情報発信を行っている。	引き続き、家庭や地域の皆様に学校や生徒の様子をタイムリーに情報発信する。	オープンスクールの中止やけや中祭の無観客により、少し交流に欠けた年になったと感じる。その反面、学校HPを充実させ、いつも様子をうかがえるようにしていただけただけのとはとても良かった。
	学校運営へのPTAや地域住民の参画、及び協力を推進しているか。	保護者や地域の皆様にボランティア協力をいただけるようになったが、コロナ禍で中止や規模縮小になったことは残念である。	応援される学校（生徒）になれるよう、生徒が地域に出かけ、地域貢献できる機会を多くつくる。	コロナの状況にもよるが、生徒が地域に、保護者や地域の方が学校に、それぞれ行き来できるよう、地域とともにある学校づくりを進めてほしい。